社会系(地理歴史)カリキュラムデザイン論

第8-9講 【意図されたカリキュラム】を使いこなす

一渡部竜也(2015)「社会問題提起力育成のための授業構成の 理論と方法(1)」東京学芸大学紀要.人文社会科学系. II 66-

1. 関国

- 2.3. モンゴッル
 - 4. 恐慌
 - 5. アマゾン開発
 - 6. 広島(衛門)
 - 7. 明治維新

- 地 1 中国国地方
- 图 2 第一次木幹を大正時代。
- 图 3 顷代 阴国的与明治? 7
- 9 / A = P-1/10 / 19
- ड दर्पात्री?
- 图 6 古代:李京平安時代
- 图7中国电地方

意図されたカリキュラムと教科書

- 1. 藤瀬説: 著者が制作した作品
 - →書き手の意図=表現したい仮説, 図版の 選択, 見出しの構成を読み解こう
- 2. 原田説: 理論で解釈すべき資料集
 - →科学者の理論を参考に、記述されている 事象の意味や関係を説明しよう
- 3. 渡部説: 政策を伝達する装置
 - →他の選択可能性と、それが排除されている構造的な理由を暴き出そう





演習課題1

重要センテンス7箇所(Silent Discussion)

- (1) 私の見解や萱香・代案をどんどん書き込む
 - → ペンを持参し、各班が1枚の模造紙の前に立つ。
 - → どんどんツイート。3分でローテーションします。
 - → 他者のツイートにリツイート=コメントしてよい。
 - → 賛同するときは、「いいね!!」の意味で♥をつける
- (2) 7箇所にツイートしたら, 原点に戻ります じっくり読み込んで, 意見の広がり, 新たな 展開を報告しよう。



演習課題2

論文からみんなで考える(グループワーク)

- (1) 自分たちでもやってみよう...11:20まで
 - → 渡部論文を参考にして単元構成を考える
 - → 0枚目に、班の名前と発表者の名前を入力する
 - → 1枚目に、現実社会or教科書で自明視されている言説 や制度・政策を取り上げ、実態を写真で示す。
 - → 2-3枚目に, 授業展開を示す。①相対化→MQ, ②意思 決定, ③構造分析, ④構造批判の流れで...
- (2) 最優秀プランを決める…理由を添えて自分 以外の班に投票。優勝班には5点を加点。

教室いろいろ一教室の自明性とは









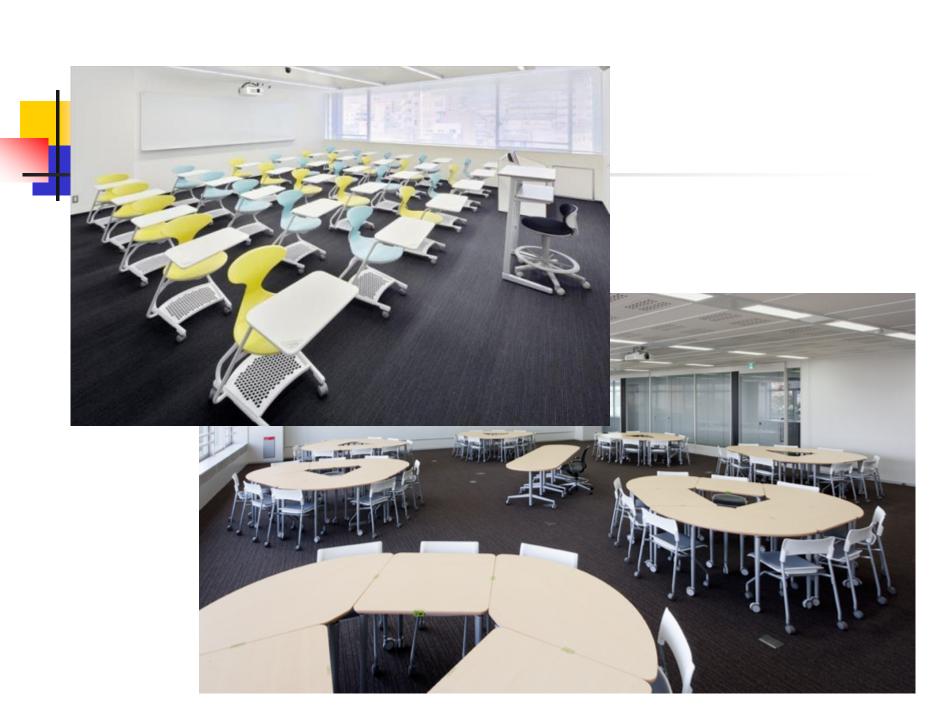












1. 世界の教室では〇〇なのに・・・

- なぜ正面には黒板があるのか?
- なぜ教師は黒板を背にして立つのか?
- なぜ机の向きは、すべて前向き=黒板向きなのか?
- なぜ机の形は長方形で、机上のスペースも広いのか?
- なぜ窓がちゃんとあるのか?
- なぜ同一年齢の、若者ばかりが集まっているのか?

2. あなただったら、どんな教室で学びたい?

- 3. なぜ1のような教室が100年も維持されてきたの?
- 4. 教室という装置を変えるのが難しいのは、なぜ? どうすれば変わる?どのような教室にしたい?

意思 決定

構造 分析

構造 批判